

ふじのくに県民クラブからのお知らせ 静岡県議会レポート

平成28年 陽春号



県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL.054-221-3510
浜松市西区入野町9860-1 TEL.053-440-7100

西区政務調査事務所 田口 章

世界にはばたけ!“ふじのくに”

静岡県議会は2月22日から3月17日まで2月定例会を開催しました。県政の概要をご報告いたします(数字は四捨五入、増減は平成27年度当初予算比)。

平成28年度一般会計当初予算 1兆2,409億円(+12億円、+0.1%)

「総合計画後期アクションプラン」に基づき、大規模地震への備え、経済政策や人材育成を進めるとともに、「世界にはばたけ“ふじのくに”」を目標に、スポーツ交流、地域外交、農林水産業の競争力強化の3つを重点戦略に取り組みます。

歳入の特徴

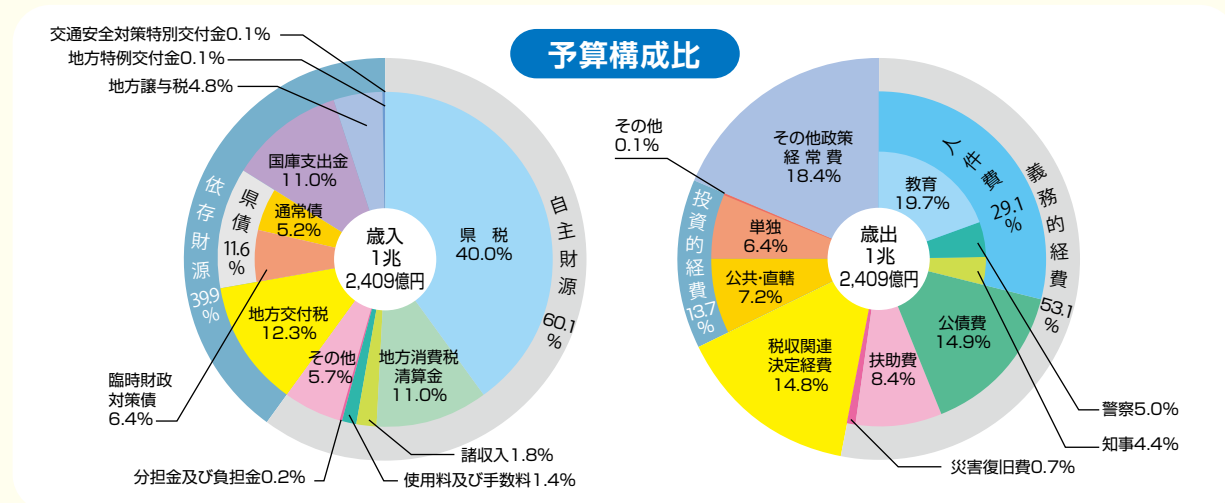
県税は4,960億円(+140億円、+2.9%)。実質的な地方交付税(地方交付税+臨時財政対策債の合計)は2,325億円(▲20億円、▲0.9%)。うち臨財債は800億円(▲230億円)で、その分地方交付税が増えています。県債は1,449億円(臨財債800億円+通常債649億円)(▲213億円、▲12.8%)で、臨財債の減少に伴い大幅減。

歳出の特徴

義務的経費は6,594億円(+26億円、+0.4%)。医療介護など「扶助費(1,040億円)」と借金返済の「公債費(1,855億円)」が増えています。投資的経費は1,698億円(▲48億円、▲2.7%)。必要な投資を先送りしていないかチェックが必要です。その他政策経常費は2,278億円(+37億円、+1.6%)。補助金の見直しが必要です。

県債残高

27年度末見込2兆7,235億円→2兆7,217億円(▲18億円)。戦後初めて一般会計の県債残高が減少する見込みです。まだまだ巨額の県債がありますが、一歩前進と評価します。ちなみに特別会計・企業会計を合わせた「総県債残高」も2兆8,864億円→2兆8,687億円(▲177億円)と減少の見込みです。



世界にはばたく3つの戦略

静岡県の“場の力”である世界水準の魅力を活かし、「世界にはばたく“ふじのくに”」をめざす取り組みを推進します。(平成27年度補正予算も含む金額)

スポーツを通じた交流の拡大とスポーツ王国しずおかの復活(16億円)

東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ事前キャンプの誘致活動の展開
国体の上位入賞を目指した選手強化、地域におけるスポーツ活動の機会拡大

新しい地域外交の展開(6億円)

県産品の販路拡大などの通商の促進や県内企業の海外展開支援
東アジアを中心とした地域間交流の促進、訪日外国人の受入体制の強化

農林水産業の競争力の強化(114億円)

マーケティング戦略の策定とブランドの確立、
高収益な作物栽培体系への転換促進
世界水準の森林認証の取得促進と国内外への販路拡大



後期アクションプランを推進するための8つの取組

①大規模地震への万全の備え(450億円)

建築物等の耐震化

⑥多彩な人材を生む学びの場づくり(128億円)

社会総がかりの教育の推進
多彩な人材の育成

②内陸のフロンティアを拓く取組(374億円)

防災減災機能の充実・強化
地域資源を活用した新しい産業の創出・集積

⑦健康寿命日本一の延伸(99億円)

県民の健康づくりの推進
安心な健康福祉の実現
安心な医療サービスの提供

③新成長産業の育成と雇用創造(201億円)

新たな価値の創造、産業基盤の強化
海外活力の取り込み

⑧富士山を活かした地域の魅力づくり(75億円)

富士山の後世への継承
富士山に続く世界水準の魅力づくり
スポーツ交流の展開

④エネルギーの地産地消(6億円)

小規模分散型エネルギーの導入促進
省エネルギー社会の形成

⑤人口減少社会への挑戦(440億円)

誰もが活躍できる、安定した雇用を創出する
若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する



● 整備にブレーキ!? 遠州灘海浜公園(篠原地区)野球場

「遠州灘海浜公園(篠原地区)基本計画策定事業費(9,700万円)」について、「コンセンサスが取れておらず時期尚早」などとする最大会派の修正案により、野球場の計画・調査に関わる部分がカットされ2,490万円に減額されました。

浜松市からの長年にわたる要望に県が応えた整備計画ですが、知事が目標に掲げていた2020年東京五輪・パラリンピックに合わせた整備は困難になりました。

「県西部に野球場を造ることへの反対ではない」とのことから、県は引き続き「基本構想」を公表し合意形成に努めていく考えです。



同エリアにある浜松市総合水泳場「ToBiO」

● 産業成長戦略2016

県は「企業誘致・定着の推進」「事業用地の確保」「地域企業の事業活動活発化」「次世代産業の創出」の4つの戦略を基本とした産業成長戦略に取り組んでいます。これらに加え平成28年度は、IoT※1)の導入促進やビジネスマッチング、マーケットインの考えに基づく販売戦略支援など新たな事業展開支援を行うほか、航空機産業、CNF※2)プロジェクトなど次世代産業の創出を進めます。



航空機産業への支援を強化

※1) IoT(インターネット・オブ・シングス=モノのインターネット化)
さまざまなモノをインターネットでつなぎ、集めた情報を分析することで新たな技術革新を進めるもの

※2) CNF(セルローズ・ナノファイバー)
植物から作られる夢の素材。鉄の5分の1の軽さで5倍の強度を持ち、さまざまな分野への活用が研究されている

● ふじのくに 少子化突破戦略の羅針盤

2015年の国勢調査で5年前の前回調査から約6万3千人の人口減少が明らかになった静岡県。少子化対策を効果的に実施するため、市町ごとに地域特性や施策の実施状況など要因を把握・分析し「見える化」した基礎分析書「ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤」を作成しました。これを活用して、県と市町が連携し、地域の実情に応じた少子化対策を積極的に推進していきます。



ご覧になりたい方はご連絡ください。



● はばたけ! グローバル人材

情報通信技術の急速な進化や激しく動く国際社会の中で、私たちの生活は世界の変化と無縁でいることはできません。このような時代に対応するためには、幕末から明治期に志ある若者たちが西洋の知識を貪欲に吸収することで近代日本の礎をつくったように、現代においても新たな時代に対応する人材を育成する仕組みが必要です。このような中、県は「グローバル人材育成基金」を設置し世界にはばたく若者を応援することにしました。今後、事業の具体化を進めていきます。



モンゴルを訪問した県内の高校生たち

● いじめ防止条例検討委員会スタート

ふじのくに県民クラブのマニフェストのひとつ「子どもをいじめから守る条例」の制定に向け各会派の議員による検討委員会が設置されました。これまで多くの学校関係者や若い世代の声を聴いて条例案を検討してきました。カギは“社会総がかり”でのいじめ防止です。今後の議論にご注目ください。

今年もやります!

“ふじのくに”ふれあいトーク会のお知らせ

この紙面の内容をはじめ県政情報をわかりやすくお伝えし、みなさんの声をおうかがいするミニ集会を開催します。参加は無料でどなたでも参加できます。お近くの会場にお気軽にお越しください。



開催時刻 全会場 18時~19時

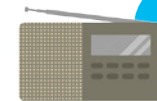
- 4月18日(月) 雄踏文化センター
- 4月19日(火) 和地協働センター
- 4月20日(水) 庄内協働センター
- 4月22日(金) 篠原協働センター
- 4月23日(土) 入野協働センター
- 4月25日(月) 舞阪協働センター
- 4月26日(火) 神久呂協働センター
- 4月27日(水) 伊佐見協働センター

詳しくは053-447-3820(担当:長野・齋藤)までお問い合わせください。

ラジオでお届け!
県政情報



ふじのくに県民クラブでは毎週土曜日午後5時から、Fm Haro76.1「**遊佐ちえみの 聞いちゃえ!しずおかの政治**」をお届けしています。パーソナリティの遊佐ちえみさんのような若い皆さんに身近に感じていただけるようなわかりやすい情報提供に努めています。私はこれまで第5週の担当でしたが、5月からは第4週に変わります。ぜひお聴きください。



第4土曜日
17:00~より!
ぜひお聴き下さい!!

創ろう! 元気な浜松&静岡県

田口 章 は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。

田口章 で 検索

